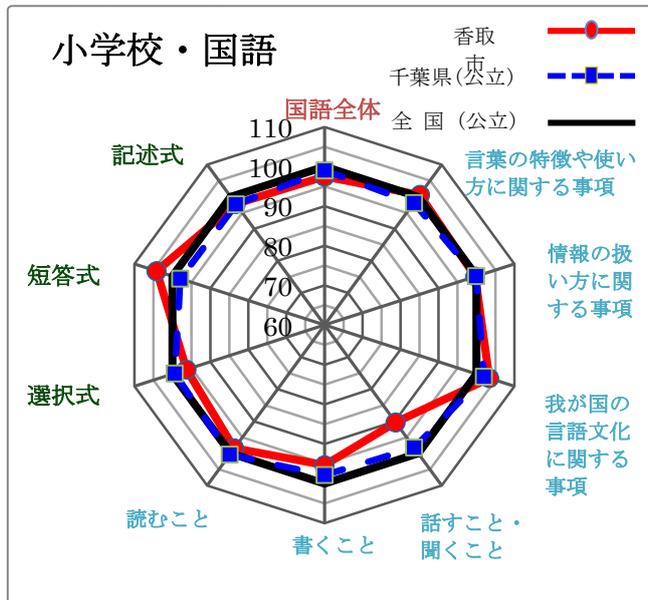


(2) 教科についての傾向と課題

※全国（公立）の平均正答率を100として、千葉県（公立）、香取市の平均正答率を相対的に表したグラフです。

小学校・国語

傾向と課題



内容別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均を上回りましたが、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は全国平均を下回っています。特に「話すこと・聞くこと」では、全国平均を100とした場合、香取市が90.3となる結果でした。課題であった「書くこと」が、改善の傾向が見られます。

問題形式別では、「短答式」は全国平均を上回りましたが、「選択式」「記述式」で全国平均には届かなかったものの、ほぼ同程度といえる結果でした。

課題が見られた主な問題

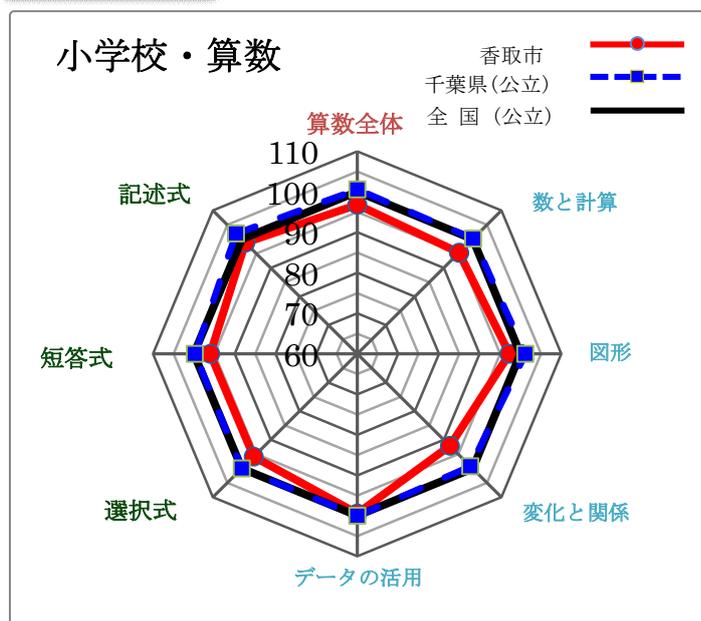
● 国語 1 二 (1)	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる 【言葉の特徴や使い方に関する事項、選択式】 [香取市 69.8% 千葉県(公立)75.5% 全国(公立)75.9%]
● 国語 1 二 (2)	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる 【話すこと・聞くこと、選択式】 [香取市 47.4% 千葉県(公立)50.8% 全国(公立)52.9%]
● 国語 1 三	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる 【話すこと・聞くこと、選択式】 [香取市 52.6% 千葉県(公立)63.1% 全国(公立)63.8%]

力を入れたい学習

- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、話し手の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて、話す際の材料を集め、分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することが効果的である。実際に、オンライン交流等に取り組み、ICT 機器を活用するなどして学習を振り返る学習が効果的である。
- 書くことにおいて、集めた材料を書く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりして、伝えたいことを書くことが重要である。

小学校・算数

傾向と課題



領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」のすべてにおいて全国平均を下回っており、特に「変化と関係」は、全国平均を100とした場合、香取市が92.8となる結果でした。

問題形式別でも、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてにおいて、全国平均と下回る結果でした。これまで「記述式」が大きな課題となっていました。改善の傾向が見られました。

課題が見られた主な問題

● 算数1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかみる 【式と計算、選択式】 [香取市 57.1% 千葉県(公立)63.4% 全国(公立)62.1%]
● 算数3(3)	球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる 【図形、短答式】 [香取市 30.6% 千葉県(公立)36.1% 全国(公立)36.5%]
● 算数4(3)	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる 【変化と関係、記述式】 [香取市 24.5% 千葉県(公立)31.0% 全国(公立)31.0%]

力を入れたい学習

- 問題の文脈に沿って図などに表し、数量の関係を捉え、式に表すことができるようにすることが重要である。未知の数量を表すとき、記号の□などを用いるとよい。
- 日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察することが重要である。例えば、速さの学習においては、速さが一定の場合には道のりと時間が比例関係にあることに気付いたりする活動などが考えられる。
- 図形の学習では、観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について筋道を立てて考察することで、実感を伴いながら図形についての理解を深めることが重要である。例えば、立体図形を見取図や展開図で表したり、見取図や展開図から立体図形を構成したりする活動や体積の求め方を考えたりする活動が考えられる。